

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 平成19年度予算編成方針について

1. 総論

国の厳しい財政状況の中、国の平成19年度の予算編成方針が昨年12月1日に閣議決定されたところであるが、国立大学法人に対する運営費交付金については、対前年度比171億円、率にして1.4%という大幅な削減がなされている。

また、本学の平成19年度予算については、特別教育研究経費においては約8千万円の増を確保できたところであるが、特殊要因経費の減等を合わせると、対前年度比約3億7千万円の減額が内示されたところである。

これらの厳しい現状をふまえ、平成19年度においては、昨年度に引き続き、経常経費である人件費及び一般管理費の一層の効率化を図り、中期目標及び中期計画を着実に実施するとともに、厳しい財政状況の中でも、本学独自の教育研究の更なる活性化を図るため、重点戦略的な経費配分を実施する。

2. 予算編成方針

- (1) 本学の中期目標及び中期計画を達成すべく、年度計画を着実に実施するために必要な予算を編成する。
- (2) 大学を運営するうえで、本学独自の教育研究の活性化を図るため、重点戦略経費を計上する。